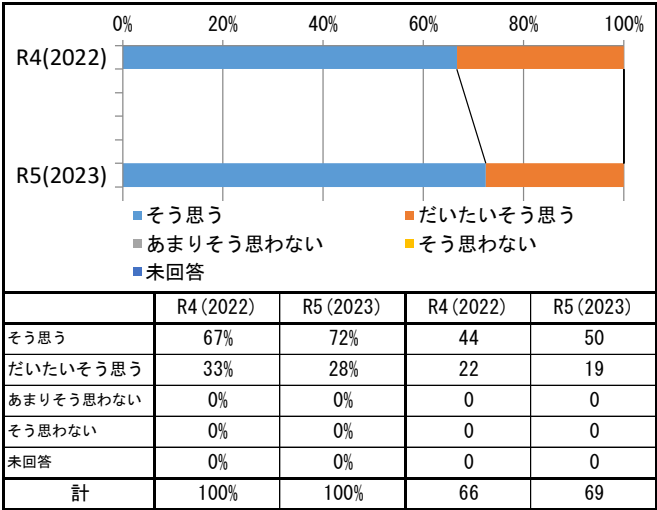
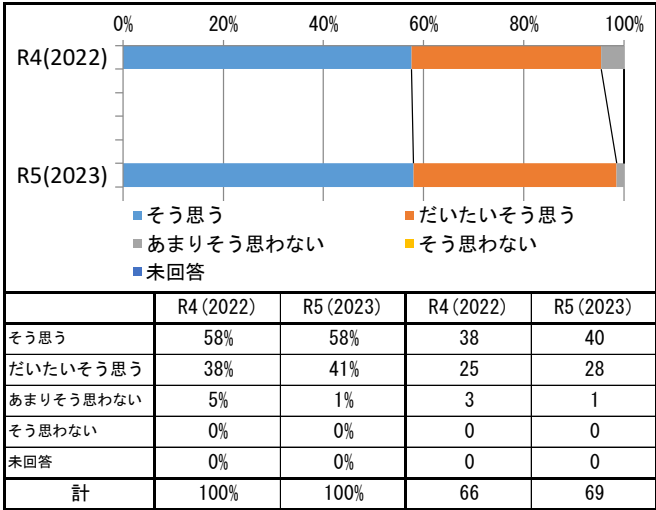


令和5年度 学校教育自己診断教職員

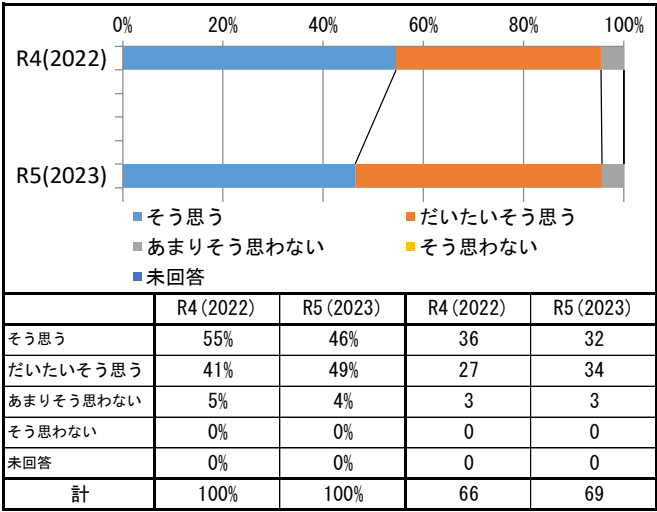
教 1 授業内容を工夫し、わかりやすい授業づくりに努めている



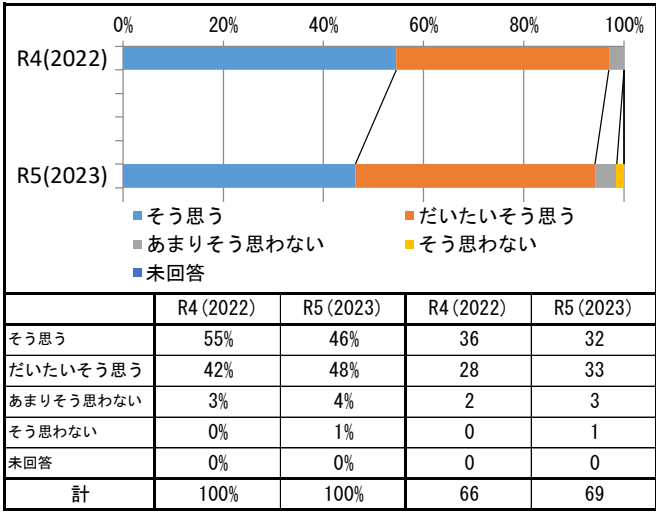
教 2 行事は参加しやすいように工夫されている



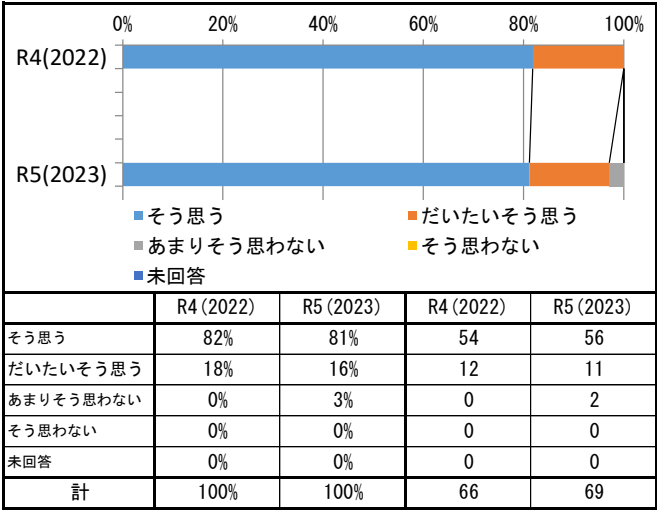
教 3 児童生徒の発達段階に応じた、進路指導（将来の夢や職業、進路、生きる力）に努めている



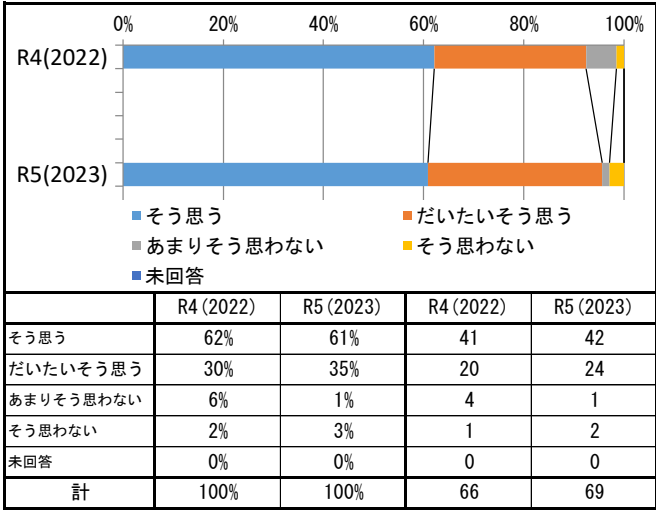
教 4 命を大切にする心や社会のルールといった道徳観や人権尊重の姿勢や、カウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導を行っている



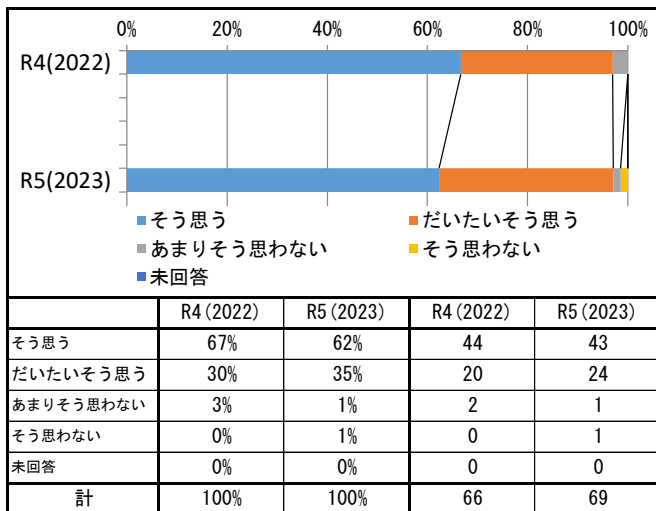
教 5 児童生徒の人権やプライバシーに配慮した指導を行っている



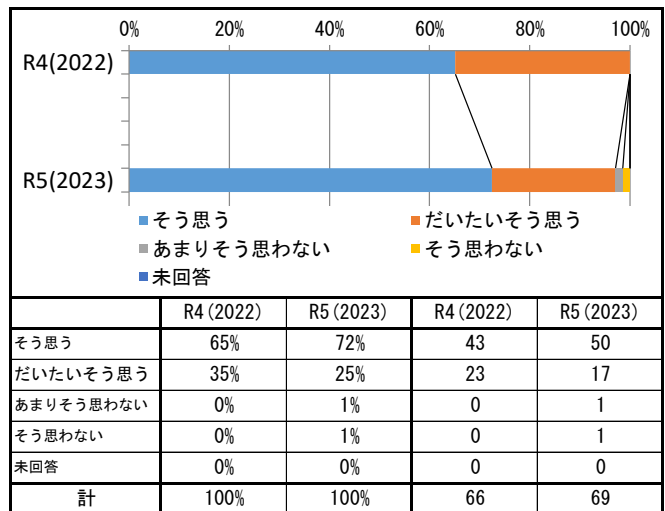
教 6 児童生徒は、学級担任以外の教職員とも相談することができる



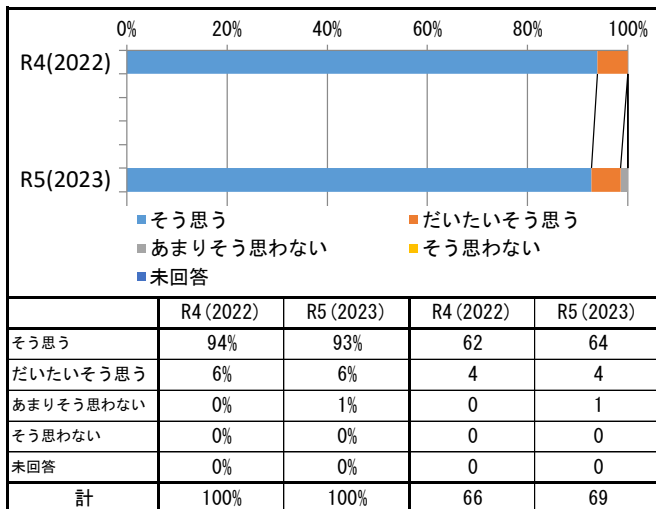
教 7 地震・火災などの防災教育や安全教育を行い、災害時の学校の対応について保護者へ説明している



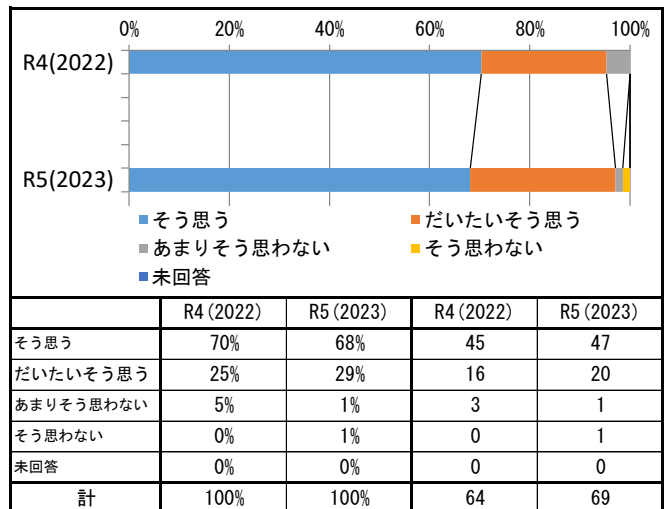
教 8 教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域校・病院への周知に努めている



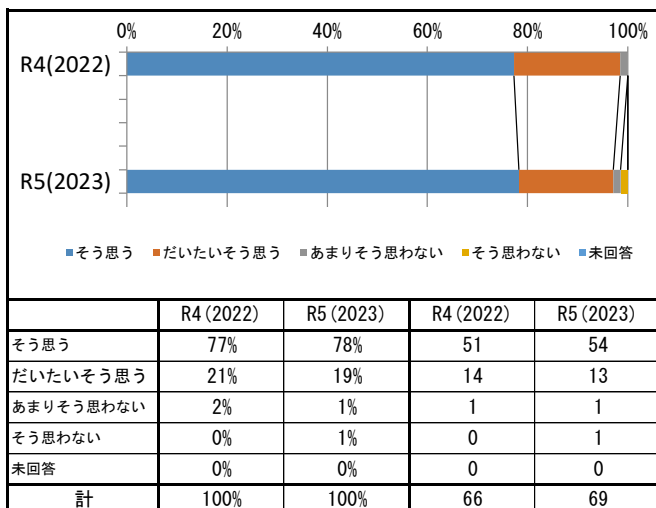
教 9 児童生徒の病気や心身の状態について理解しようと努めている



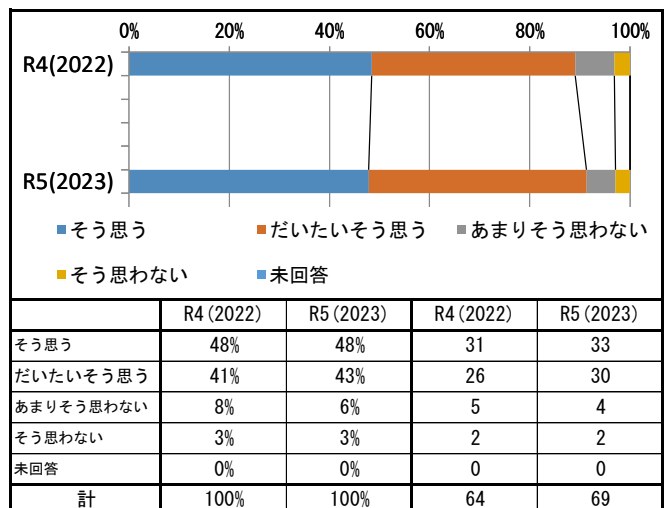
教10 個別の教育支援計画を本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、実施後は速やかに評価を行なっている



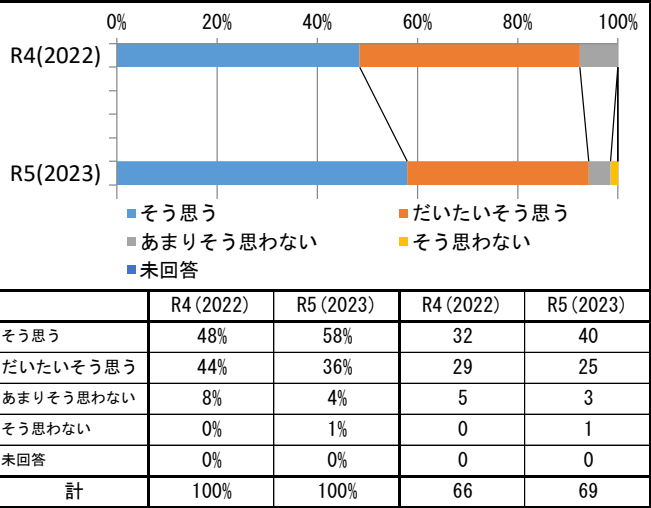
教11 学校の教育活動について、教職員間で日常的に話し合っている



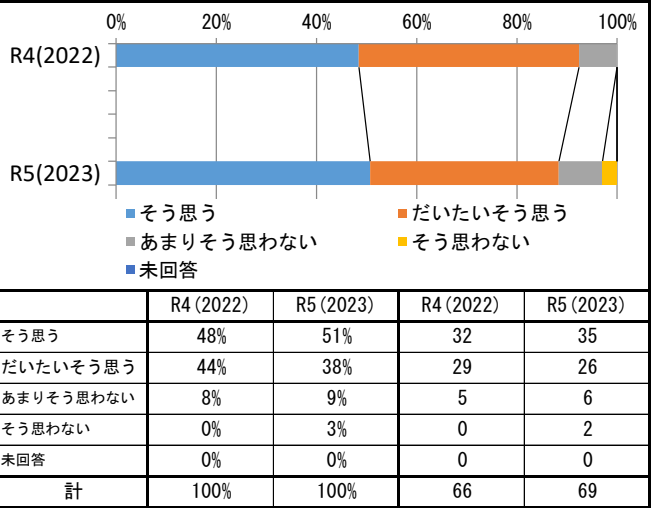
教12 教育活動、学校運営全般にわたる評価及び反省を行い、次年度の計画に活用している



教13 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制を整えており、迅速に対応できるようにしている



教14 学校は、児童生徒がタブレット端末を効果的に活用できるようにしている。



教15 学校内での各分掌などの組織内連携が円滑に行われ、うまく機能している。

